



発行人
公益財団法人 愛媛県消防協会
松山市築山町1番35号
電話(921)8517番
会長 大西 浩司
一部53円

年頭の辞

公益財団法人 愛媛県消防協会 会長 大西 浩司



令和3年の新春を迎えるにあたり、会員各位をはじめ愛媛県内の消防関係者の皆様、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

また昨年末には、県内各地域で年の瀬の警戒に任じられた消防団員や職員のご苦労に対し、心から感謝を申し上げます。

さて昨年来、新型コロナウイルスのまん延は今なお収束の兆しが見えず、恒例の消防大会や操法大会をはじめ、各市町の事業も軒並み中止や延期に追われた一年でありました。また、夏場の大雨や、秋口の台風でも新型コロナウイルスの心配を背負いながらの活動を余儀なくされました。

近年の大震災や豪雨災害に上乘せられた感のある今般のコロナ禍の中で、地域防災の要である消防団への負担と期待は益々増える一方で、団員の減少には歯止めが掛かりません。愛媛県内では昨年4月、前年比で約300人の団員が減少しており、地域の消防体制維持に黄色の信号が灯っています。



愛媛県知事 中村 時広

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、健康やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

平素、消防関係者の皆様方には、消火、救急、救助はもとより、さまざまな災害から住民の尊い生命と貴重な財産を守るため、昼夜を問わず献身的に活動されており、深く敬意と感謝の意を表します。

さて、昨年は、新型コロナウイルスの感染拡大によって、社会・経済に極めて大きな影響がおよんだ年となりました。国内初の感染確認から約1年が経過しましたが、今なお収束の兆しは見えず、県では、県民の皆さんの安全・安心の確保を最優先に、最大限の警戒と緊張感を持って感染防止に全力を挙げているところです。

また、県政の3本柱の一つに掲げる防災・減災対策の深化を目指し、地震や津波、河川の氾濫、土砂災害等に備えた公共土木施設の整備・機能強化を進めるとともに、防災訓練を通じた

令和2年度全国統一防火標語 その火事を 防ぐあなたに 金メダル



愛媛県消防協会 会長 中矢 洋造

令和3年の輝かしい新春を迎え、県内の消防関係者の皆様に謹んで年頭の御挨拶を申し上げます。皆様には、日頃から地域の安全・安心を確保するため、昼夜を分かたず消防・防災活動に御尽力いただいておりますことに、深く敬意を表しますとともに心から感謝申し上げます。



今年も
宜しく
お願い
いたします

さて、昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症への対応に加え、特定非常災害に指定された令和2年7月豪雨などの大きな被害をもたらした災害が全国各地で発生し、多くの尊い人命と貴重な財産が失われました。

頻発する大災害に加えて、今後発生が懸念される南海トラフ巨大地震に的確に対応するためには、各消防本部、消防団、自主防災組織、女性防火クラブなどの防災関係機関が連携を図り、有機的な活動ができるよう備えておくことが大変重要となってきます。



公益財団法人 日本消防協会 会長 秋本 敏文

「新たな災害環境」への対応 ―新春のごあいさつ―

新年おめでとうございます。火災・自然災害が相次ぐだけでなく新型コロナウイルス感染症が大きな問題となるなど、大変ご苦労が多いなかの新年ですので、心の中には穏やかでないものがございますが、新しい年をよい年とするよう、気持ちを新たにしたいと存じます。そのようななかで、常日頃、地域の皆さんの安全確保のためご尽力頂いている愛媛県消防の皆様に心から感謝申し上げます。

私は最近、「新たな災害環境」という言葉を使わせて頂くことがあるのですが、皆様ご承知のように、まず災害の様相が変化してまいりました。近年、フェーン現象下の火災等のほか、台風や局地的な豪雨が、これまでの常識を大きく超える大規模なものになっていきます。また、人口動向、地域社会の状況等社会環境にも変化が見られます。消防はこうした状況変化、いわば「新たな災害環境」への変化を正面から受けとめながら、どのようなことを考え、実行していくべきか、このことは数年前から課題として位置づけていますが、新たな気持をもって対処しなければならぬと思います。

今年も、東日本大震災から10年を迎えます。愛媛県でも、地震や大雨災害等がございました。このようなさまざまな過去の体験から得た教訓を活かしながら、最近の状況を直視してさまざまな



対応をしなければなりません。そこで重要なのは、常備消防、消防団など関係機関のそれぞれの体制を強化するとともに、幅広い消防防災関係者、これには、行政関係の方々も勿論、学者研究者、関係メーカー、情報関係者、各種企業・団体など幅広い関係の方々、いわば総参加、総連携、総活躍が必要でしょうし、そのためにはこのような皆様方の連携協力推進の場も必要でしょう。

そして、災害発生現場の実情に応じ、地域の皆様のそれぞれの事情に応じながら必要な行動を展開し、被害を最小限に抑えるためには、それぞれの地域の対応が重要です。防災の原点は「地域」です。ここでは、地域の皆様とさまざまな防災関係機関との連携を密接にしながら、地域の皆様の総参加、総活躍を進めなければなりません。その場合、地域と密接につながっている消防機関の存在は極めて大きいと思われまます。

今、日本消防協会では、新しい日本消防会館の建設を進めておりますが、この新会館は、このような中広い総力結集による消防防災体制の充実強化のお役に立つものにしなければならぬと考えております。最後に県内の無事平穏、愛媛県消防の皆様のご健勝ご多幸を心からお祈り申しあげ、新年のあいさつとさせていただきます。

近隣市町消防団合同訓練

消防団広域相互応援体制発足式

実施：令和 2 年 10 月 30 日
場所：愛媛県庁

消防団広域相互応援協定が締結され、いよいよ消防団が市町の枠を超えて活動する体制がスタートしました。これに伴う愛媛県庁での発足式では、中村時広・愛媛県知事からの「横の連携を一層強化し、いざというときに備えて頂きたい」の言葉につき、応援活動に必要な無線機 100 台などが県内 20 市町の消防団に交付されました。大西浩司・消防協会長からは「近年の災害は防災に携わる者が総力を挙げる必要がある」こと、またこの応援体制が「災害に苦しみ人々に向けた消防団員の思いの結集であり、一致団結して消防力の強化に取り組む」旨が答辞で述べられました。



1. 東予ブロック

- (1) 実施日：令和 2 年 10 月 25 日 (日) A M
- (2) 場所：新居浜市黒島海浜公園
- (3) 内容：林野火災防ぎよ (飛び火延焼)
- (4) 参加：新居浜市 (受援側) 団員 38 名、消防車両 5 台、協定企業 ミキサー車 1 台、ほか

概要

新居浜市東部市境界付近の公園で林野火災の延焼防止を主眼とした。この地域では東予特有の「やまじ風」の中で、これまでも厳しい消防活動を余儀なくされた。訓練は、出火報により地元消防団が出勤し放水開始、飛び火延焼で拡大したため四国中央市の天満・関川分団が応援に駆け付け、現地本部での状況付与後応援活動を開始。林野火災では元ポンプで十分な水利を確保することが火勢鎮圧と筒先員の安全確保に繋がる。新居浜市は、地元コンクリート協同組合との協定を締結した直後であり、一度に 5 m 以上の水がミキサー車から供給される体制が整備され、消防団応援と共に企業応援も消防の総合力を引き上げている。

2. 中予ブロック

- (1) 実施日：令和 2 年 8 月 29 日 (日) A M
- (2) 場所：伊予市双海町ふたみ潮風ふれあい公園
- (3) 内容：林野火災防ぎよ (県総合防災訓練と併催)
- (4) 参加：(受援側) 伊予市消防団 21 名、車両 4 台ほか (応援側) 東温市消防団・松山市消防団・久万高原町消防団・砥部町消防団・松前町消防団以上 5 消防団 20 名、車両 5 台 (総合防災訓練参加機関 103 機関・約 6000 名)

概要

中予合同訓練は県総合防災訓練と併催した。会場となった伊予市周辺の南海トラフ巨大地震の想定では震度 6 弱、津波高さ 4 m 前後とされる。また、伊予灘海岸部は台風や冬の西風より住宅火災が林野火災となる延焼危険もあり、強い風を考慮した中継 4 線の 4 口放水の訓練となった。



消防団の広域応援は、常備消防の先行した動きとの連動が必須であり、複数の応援手続きの実践、応援隊到着時の状況説明と指示が試行されたほか、避難誘導等多様な活動をする地元消防団への応援の課題など総合防災訓練ならではの気付きがあった。今後は女性消防団員の役割整理や付与などで更なる地域防災力を担保したい。

3. 南予ブロック

- (1) 実施日：令和 2 年 10 月 25 日 (日) A M
- (2) 場所：愛南町御荘長月・御荘和口地区
- (3) 内容：消防団活動の情報通信連携
- (4) 参加：(受援側) 愛南町消防団 39 名、車両 4 台、オフロードバイク 3 台、ドローン 1 台、小型省電力トランシーバ 10 台、簡易無線機 5 台、個人スマートフォン

概要

南予では集落が点在する地勢から、被災前後の情報収集を効果的・安全に実施するためにはバイク・ドローンによる情報取得と無線機などによる情報連携が必須となる。訓練は 2 か所の谷筋を地元消防団と応援の宇和島市消防団津島方面隊が二手に分かれ、避難の要否・要救助者の確認・道路被害・集落孤立等、被災情報の送達を主眼とした。愛南町は省電力型トランシーバ、宇和島市は IP 無線機を軸として運用しており、応援側の連携ツールとして県配備の 5 W 型無線機や個人持ちスマートフォンの SNS アプリの活用も試行した。結果、現地本部には多様な情報機器に入電することで整理が混乱すること、SNS アプリは画像送信面で有効であったこと、省電力トランシーバ・IP 無線機・5 W 簡易無線機が配備された現状での活用手段を整理する必要があることなどが判明し、県内初の情報連携における合同訓練の成果があった。



扱いやすさと
タフな空冷エンジンを採用

空冷式消防ポンプ

FT500
B-2級

FT450
B-3級

Fi(電子制御燃料噴射)に間接水冷ラジエータを搭載

水冷Fi式消防ポンプ

FF500ZXi
B-2級

FF450ZXi
B-3級

SHIBAURA

信頼と実績のキャブレタシリーズ

水冷式消防ポンプ

FK500 B-2級

FK450 B-3級

FK400 B-3級

シバウラ消防ポンプ愛媛県総代理店
(有)愛媛芝浦ポンプ商会
TEL.089-933-6355 FAX.089-933-9550
〒790-0911 松山市桑原2丁目3番19号

愛媛県からのお知らせ

今、何より求められているのは、市中感染のまん延を防ぐこと、感染拡大を抑え込み、コロナを徹底的に封じ込めていくこと

「感染警戒期」～ 特別警戒期間 ～
ほんとうに ステージ3への せとぎわやけん!

- ① 感染拡大地域(特定都道府県)との往来や出張自粛
 - やむを得ない往来や出張は感染回避行動を徹底
 - 特定都道府県以外の感染拡大地域への往来は感染状況等を確認の上、慎重に判断
 - 帰県後2週間は、体調管理に留意する
- ② 会食では注意事項を徹底
 - 大人数(5人以上)、長時間の会食は行わない
 - 2週間以内に感染リスクの高い行動をした方、体調不良の方は会食に参加しない、させない
- ③ 日々の健康管理に十分注意
 - 症状が出た方は通勤など外出を避け、かかりつけ医等に相談の上、早期に受診
 - 十分な休養と睡眠をとり、免疫機能を高める



- 全国の感染状況・・・改善傾向がみられない
- ・ 緊急事態宣言下でも高い水準を維持
- ・ うち、特定都道府県が8割を占め、縮小傾向がみられない
- 本県の感染状況
 - ・ 陽性者の総数は減少見られたが、20人前後が続いている
 - ・ 新規事例の陽性者の規模は減少傾向がみられず、市中感染リスクは継続
 - ・ 感染経路が変化しており、引き続き警戒が必要
 - ・ 年末年始の会食・飲食店由来の感染は減少
 - ・ 家庭内感染は増加傾向、それらが医療機関や福祉施設へ伝搬するリスクが高い
- 社会経済活動の再開による感染リスクへの対処
 - 【県民・事業者】
 - ・ 感染リスクが高まる「5つの場面」に十分注意
 - 【事業者】
 - ・ 「3つの密」の回避に向けた業種別ガイドラインの実践
 - 【医療機関・高齢者施設等】
 - ・ 面会は時間や人数を制限し、厳重な感染予防策を実施
 - 【県立学校】
 - ・ 授業や部活において、身体接触を伴う活動等は、学校長の許可の下、健康観察や3密回避を徹底し注意をして実施
 - ・ 近隣校以外との練習試合は禁止(特に松山市内の学校は厳選する)
 - ・ 年末年始の人の移動等の影響が収まるまでの間は、身体接触を伴う活動等は極力控える
 - 【公共施設、イベント等】
 - ・ 感染防止対策の徹底 接触確認アプリ・えひめコロナお知らせネットの活用

— 公開先 —

- (1) ユーチューブ
 - https://www.youtube.com/watch?v=Xnx-PhluPhA&feature=emb_logo
- (2) 県ホームページ(消防団関係ページ)
 - https://www.pref.ehime.jp/h15300/17syoubou/08syouboudan.html
 - ホーム > くらし・防災・環境 > 防災・危機管理 > 防災対策 > 消防団について



愛媛の消防団

消防団PR動画「愛媛の消防団」ご紹介

地域における消防防災体制の中核的存在である消防団員の減少に歯止めをかけるため、次の内容を収録した消防団PR動画を県で制作しましたので、ぜひ御視聴・御活用ください。また、この場をお借りして、御協力いただきました関係者の皆様に御礼申し上げます。

- ◆ 家庭内で感染を広げないための注意事項 ◆
- ① 家に帰ったら、まず手洗い・手指や持物(スマホ等)の消毒を
- ② こまめに共用部分の消毒を(ドアノブ、手すり、電気のスイッチ、リモコンなど)
- ③ 定期的に換気を行い、部屋の空気を入れ替えを。適度な加湿も忘れずに
- ④ 食事の際は、お皿は小分けに。大皿の場合は取り箸を使って
- ⑤ 検温を習慣化し、体調が悪い場合は、家の中でもマスクを着用。家族との接触は極力控えて

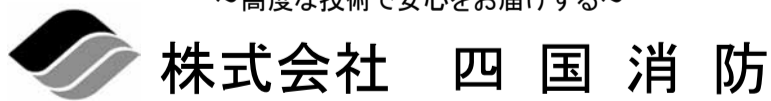
消防団の動画つくったけん

(県HP) (Youtube)

時間	内容
0:00 ~ 0:22	オープニング
0:22 ~ 2:31	令和2年3月に締結した「愛媛県消防団広域相互応援協定」に基づく合同訓練の様子
2:31 ~ 4:50	若手消防団員インタビュー(5名)
4:50 ~ 5:06	入団呼びかけ・問い合わせ先

- 点検・報告・整備・工事
 - 消防用設備等・特殊消防用設備等
 - 防火対象物点検・防災管理点検
 - 防火設備点検
 - 連結送水管の配管耐圧試験
 - 消防用ホース耐圧試験
- 消防用機器等の販売
 - 各種消火器
 - 住宅用火災警報器
 - その他各種防災用品
 - 消防ポンプ自動車

～高度な技術で安心をお届けする～



〒790-0952 松山市朝生田町1丁目7番21号
 電話 (089)934-4800
 F A X (089)934-5533
 E-mail : yons@ss4800.jp

最強コンビ



トーハツ VCPROIII



キンバイスーパーランナーホース

ポンプ操作法



株式会社 ヤマダ

1910年創業



小型消防ポンプVFシリーズ
電子制御 燃料噴射装置



消防ポンプ自動車
化学消防自動車



テイセン救助工作車
キンバイ消防ホース



ヤマトプロテック
粉末(ABC) 消火器

〒790-0062 松山市南江戸1丁目2番26号

TEL: (089) 947-2295 | FAX: (089) 945-3976 | www.yamada-pump.co.jp

消防団員指導員研修会

実施日：令和2年10月24日(土)～25日(日)
場 所：愛媛県消防学校

県内各市町から消防団の中核を担う方々26名にご参加いただき、指導員研修を実施しました。

今年の研修会は新型コロナウイルスへの対応で、いろいろ気を遣いながら、また、慣れない学校での研修でありましたが、実技研修では日頃の訓練であり経験できないことが学べたり、消防団活動において大事なことを再確認できたり、また、他地区消防団との交流で、いろいろな情報交換ができ、研修の効果を感ぜてくださったようです。

大雨や台風災害などが、大規模で厳しくなっている昨今。消防団も避難誘導や人命救助など、その役割と活動は大変ななっています。団員を指導する立場で単に現場活動を学ぶだけでなく、団員が怪我をしない方法を習得することも重要です。

災害現場に赴く皆さんの未来が、輝かしいものとなりますよう祈念するとともに、新型コロナウイルスの脅威の中で研修会開催にご協力いただきました愛媛県消防学校のみなさまに感謝申し上げます。



団長消防長等研修会

実施日：令和2年10月30日(金)
場 所：リジエール松山

愛媛県下20市町の消防団長と消防長のご参加をいただきまして、令和2年度団長消防長等研修会を実施いたしました。

今年度は、コロナ過での開催でしたので、人数を絞った開催となりました。第一部では、西条市消防団、松山市消防団、大洲市消防団の若手中堅団員が、「災害時の地域防災」をテーマとし、近年活動を通じて感じていたことや課題について発表。松山市消防団の石井隆之介さんが最優秀、西条市消防団の片山大樹さん・大洲市消防団の山田太一さんが優秀賞を受賞されました。

第二部では、消防団合同訓練情報共有会として、東中南予で実施した近隣市町での合同訓練の内容や課題について、伊予市、新居浜市、愛南町の消防団長から報告いただきました。

この取組が今後の協力的体制の更なる強化につなげていけるよう、まい進してまいります。引き続き、よろしくお願ひいたします。

報告いただきました。



令和2年度共済事業による車両交付

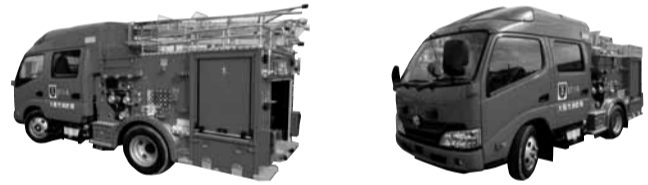
日本消防協会消防団員等福祉共済の福祉増進事業、防火防災訓練災害補償等共済の還元事業及び全日本消防人共済会の教育広報事業として、日本消防協会から、大洲市消防団へ、消防団活動車(三菱デリカ・ワンボックス型・乗用人員8名・4WD・AT)が交付されました。



日本消防協会消防団員等福祉共済の福祉増進事業、防火防災訓練災害補償等共済の還元事業及び全日本消防人共済会の教育広報事業として、日本消防協会から、大洲市消防団へ、消防団活動車(三菱デリカ・ワンボックス型・乗用人員8名・4WD・AT)が交付されました。

日本消防協会消防団員等福祉共済の福祉増進事業、防火防災訓練災害補償等共済の還元事業及び全日本消防人共済会の教育広報事業として、日本消防協会から、大洲市消防団へ、消防団活動車(三菱デリカ・ワンボックス型・乗用人員8名・4WD・AT)が交付されました。

http://www.ogawa-pump.co.jp
OGAWA 仕様 消防ポンプ自動車(Made In 愛媛)



豊富な収納力が1台2役分の活躍を。
多くの資機材を積み込みながらも、初期消火に力を発揮する水槽を搭載。コンパクトにまとめあげたCD-I

小川ポンプ工業株式会社
愛媛支社

〒790-0045 松山市余戸中6丁目9番52号
TEL: 089-972-2392 FAX: 089-972-2400
E-mail: ehime@ogawa-pump.co.jp

詠み人知らず
ドローン。高価な印象だが今は値段も安く高性能なため県内消防でも導入が進む。



愛南町合同訓練のドローン空撮を見て、いつかどこかで見たような懐かしい気がした。昔乗った梯子車の先端から見た地上の光景とオーバーラップしたのかもしれない。

今、消防団は電動救助資機材やIP無線機などハイテクな道具を持つ時代になった。消防の老兵は隔世の感を覚えつつ、これらを駆使した若い団員らの活動に期待をしている。

さて、世はコロナ一色であるが、人類は叡知と新薬でいよいよ反転攻勢をかける。新たな春が目の前に迫っている。

消防は士気と技術が大事という。コロナという災禍を鎮めるのも同じこと。半世紀ぶりのオレンジピックが見たい。

災害に強いまちづくりをお手伝いします

家庭用からプロ仕様まで
消防・防災の専門商社

- ◎消防ポンプ自動車
- ◎消防ホース
- ◎防災・救助機器
- ◎避難用品
- ◎小型動力ポンプ
- ◎消防被服
- ◎消火器・消火装置
- ◎自主防災・企業防災用品



人と地域のいのちを守る
MORITA
東芝とモリタ
消防ポンプ自動車No.1メーカー



新基準活動服
新基準による
消防団員活動服



SHIBAURA
消防ポンプ・防災機器
シバウラ可搬消防ポンプ



ジェットホース
操法大会最優秀ホース
コンペVシリーズ

(株) 岩本商会 〒790-0067 松山市大手町1丁目10番地1

Tel.089(947)2111 Fax.089(947)2116
高松支店/宇和島営業所/姫原倉庫 http://www.iwamotosyoukai.co.jp

各種消防ポンプ車 救急車 高度医療機器販売

防災用品 各種消火設備販売

消防防災設備 給排水設備 設計・施工・保守

新日本ライツ

日本機械工業株式会社代理店
ヤマトプロテック株式会社代理店

http://www.sn-ll.com

南予営業所 〒796-0201 愛媛県八幡浜市保内町川之石1-237-130
Tel.0894-36-3322 fax.0894-36-3323

本社 〒790-0054 愛媛県松山市空港通2丁目18番32号
Tel.089-908-5766 fax.089-908-5767